

地域密着型金融への取組み

地域密着型金融の位置付け

当行は地域密着型金融を地域金融機関として恒久的に取組むべき課題であると認識し、中期経営計画においても、その考え方を踏まえて各種施策を策定しております。

平成27年度からスタートした中期経営計画『考動と開革II 27-29』では、「地方創生への積極的な関与」「お客さま満足度の向上」「地域と当行の将来を担う人材の育成」という3つの基本方針のもと、急速な少子高齢化や人口減少などの環境変化に的確に対応し、お客さまとの関係や地域との連携を強化することにより、「お客さまの明るい未来と活力あふれる地域を創造する銀行」を目指してまいります。

平成24～26年度における取組み

- 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- 2 地域の面的再生への積極的な参画
- 3 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

計数目標と進捗状況

項目	債務者区分 ランクアップ先数	ビジネスマッチング 情報の提供件数
目標	30先(3年間累計)	年間2,000件
実績	46先(3年間累計)	年間2,483件

成長産業に対する支援

■ 平成27年2月 とりぎん介護事業セミナー

少子高齢化や法改正など介護業界をめぐる環境が変化するなか、介護経営に役立つ情報をご提供するため、外部専門家と連携し、介護事業に関するセミナーを開催いたしました。



平成27～29年度における地域密着型金融への取組み

1 お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

- (1) 創業・新事業支援 (2) 成長段階における支援
- (3) 経営改善・事業再生支援 (4) 事業承継支援
- (5) 専門人材の育成

2 地域の面的再生への積極的な参画

- (1) 地域における「産・官・学・金・労・言」連携の強化と地方創生への積極関与
- (2) 地域の成長産業や特定分野に対する支援
- (3) 地域活性化につながる取組みの推進

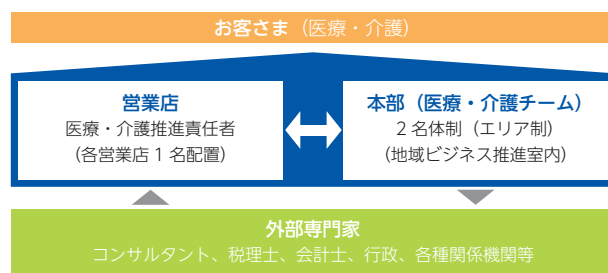
3 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

- (1) デイスクロージャータブ及びHPへの掲示
- (2) 地元会社説明会での説明

計数目標

項目	債務者区分 ランクアップ先数	ビジネスマッチング 情報の提供件数
目標	30先(3年間累計)	年間2,000件

■ 医療・介護分野に関する支援体制



「地域密着型金融への取組み」の詳細につきましては、当行ホームページ(<http://www.tottoribank.co.jp>)に掲載しております。

平成26年度決算のご報告

業績ハイライト

平成26年度の決算は、預金残高及び貸出金残高がともに過去最高を更新するなど、順調に増加し、当期純利益は3年連続の増益で過去最高益となりました。

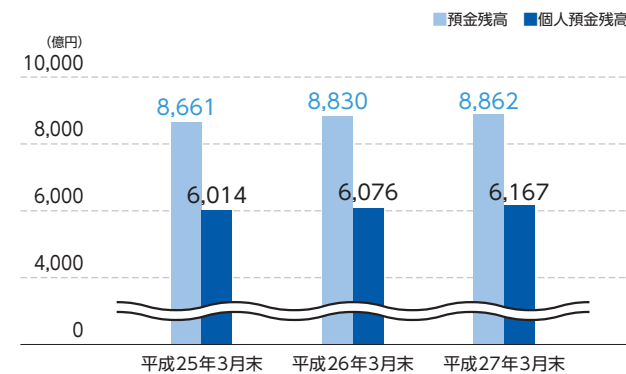
また、自己資本比率は10.65%と国内基準で必要とされている4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.76%に低下し、安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

損益の状況 (単体)

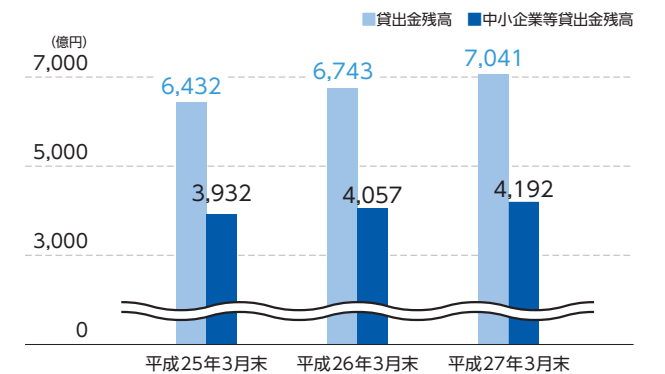
(単位: 百万円)

	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期
コア業務純益	1,657	1,589	3,006
経常利益	1,910	2,670	3,329
当期純利益	968	1,536	2,185

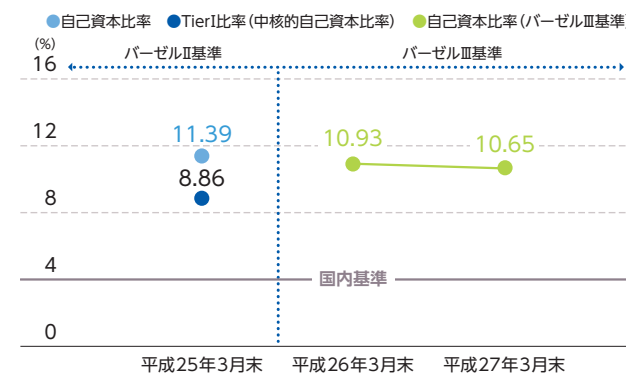
預金残高 (単体)



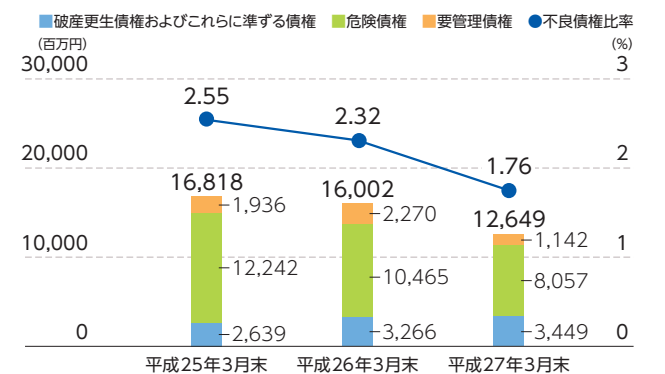
貸出金残高 (単体)



自己資本比率 (単体)



不良債権の状況 (単体) 【金融再生法ベース】



(注) 平成26年3月末より、パーゼルIII基準の自己資本比率を算出しております。